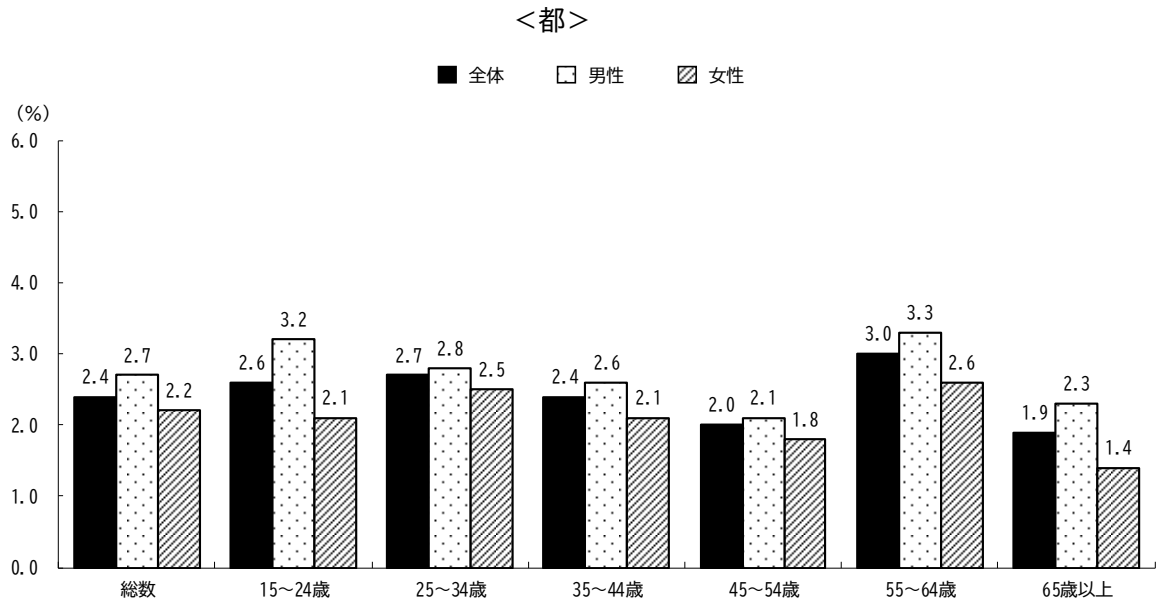


3-3 若年層への支援

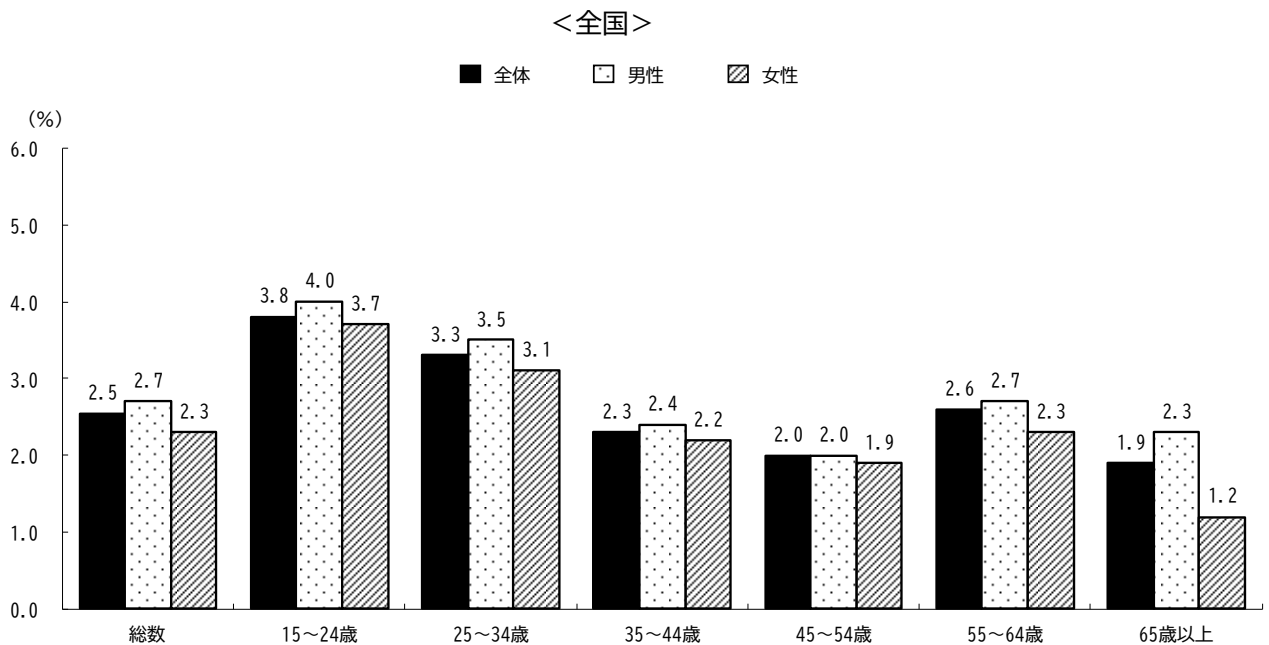
1. 完全失業率

令和7（2025）年の都の完全失業率は、男性2.7%、女性2.2%で、全国とほぼ同じである。女性よりも男性の方が高い傾向にあり、年齢階級では都では55～64歳、全国では15～24歳が高い。

図表3-3-1 性・年齢階級別完全失業率（都・全国）



資料：東京都総務局「東京の労働力（労働力調査結果）」（令和7年平均）

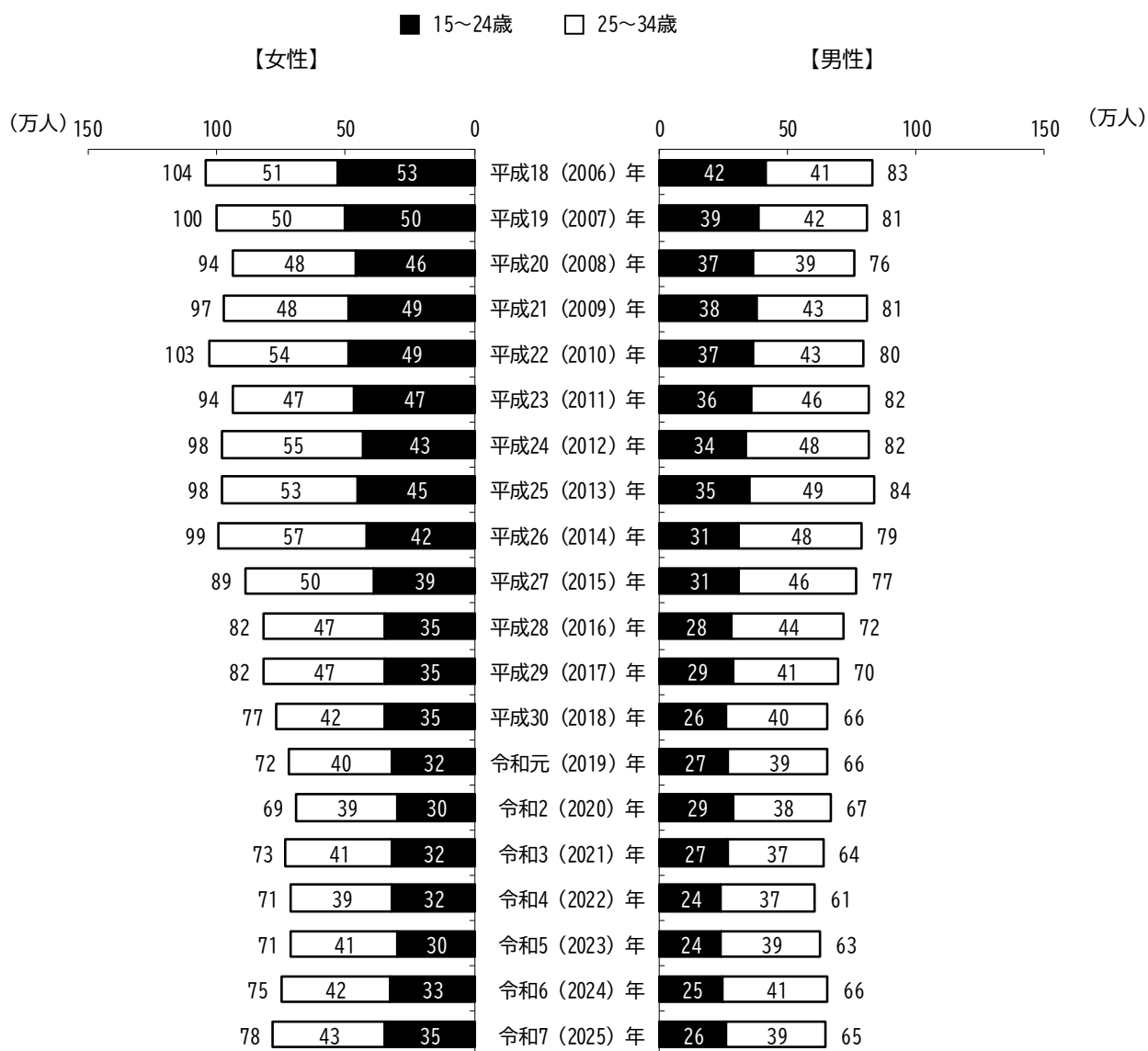


資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和7年平均）

2. 年齢階級別フリーター数の推移

全国のフリーター数は、令和7（2025）年で男性65万人、女性78万人である。平成18（2006）年以降の推移をみると、若干のバラつきはあるが、男性、女性とも緩やかな減少が続いていたが、男女とも近年増加している。

図表3-3-2 年齢階級別フリーター数の推移（全国）



注1：ここでの「フリーター」の人数は、若年層（15～34歳の男性(卒業生)、女性(卒業で未婚の者)）のパート・アルバイト及びその希望者で、下記①～③の合計である。

- ①「パート・アルバイト」での雇用者
- ②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者
- ③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者

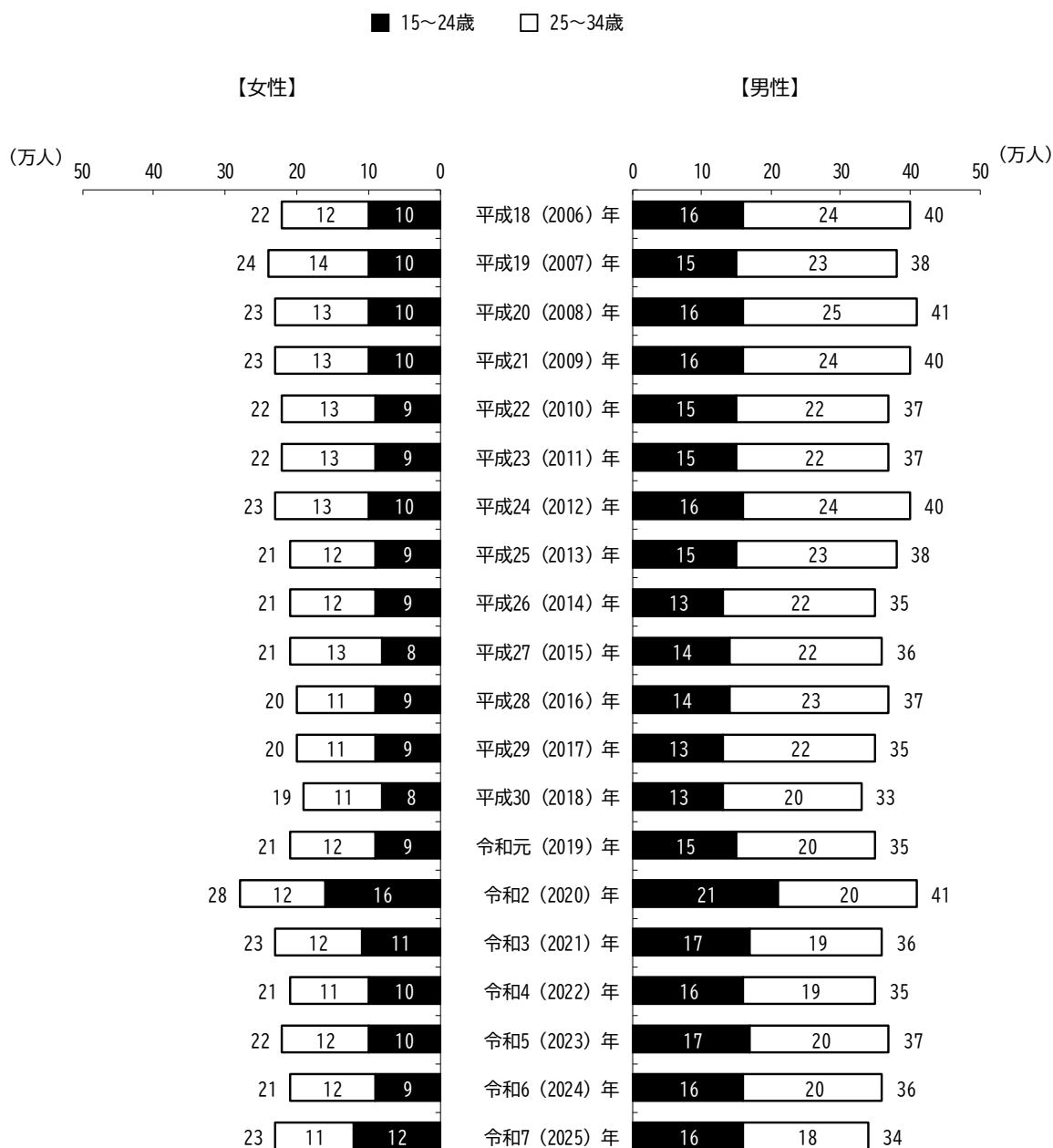
注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（詳細集計）」（令和7年平均）

3. 年齢階級別若年無業者数の推移

全国の若年無業者数は、令和7（2025）年で男性34万人、女性23万人である。男女とも平成24（2012）年以降はゆるやかな減少傾向にあり、令和元（2019）年から増加傾向に転じたが、令和3（2021）年以降は横ばいである。

図表3-3-3 年齢階級別若年無業者数の推移（全国）



注1：ここでいう「若年無業者」は、15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。

注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和7年平均）